

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書番号 1～6	構造物掘削について、仮置土は敷均しによる整形は見込まれておられますか、ご教示願います。	見込んでいないとお考えください。
2	金抜設計書番号 4	構造物掘削-特殊部 B 1 について、上部障害クリア工法の施工に際する最大 N 値は設計図参考図 P613 より N 値 27 との理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	そのとおりお考えください。
3	金抜設計書番号 5	構造物掘削-特殊部 B 2 について、上部障害クリア工法の施工に際する最大 N 値は設計図参考図 P615 より N 値 50 との理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	そのとおりお考えください。
4	金抜設計書番号 6	構造物掘削-特殊部 B 3 について、上部障害クリア工法の施工に際する最大 N 値は設計図参考図 P617 より N 値 50 との理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	そのとおりお考えください。
5	金抜設計書番号 3 5～3 7	鋼製ブラケット A～C 工について、鋼製ブラケットの製作は① N E X C O 積算基準書 3 1-2 7 による積上げ、② 見積りのどちらをお考えでしょうか、ご教示願います。	N E X C O 積算基準書を想定しております。

6	金抜設計書番号38	耐震補強用コンクリート表面処理工について、使用する水の量をご教示願います。	水の使用量については具体的に想定する数量はございません。
7	金抜設計書番号38	耐震補強用コンクリート表面処理工について、使用する水の運搬に要する給水車の費用は見込まれておられますか、ご教示願います。	水の運搬に要する費用は含まれているものとお考えください。
8	金抜設計書番号39	耐震補強用鋼板製作について、耐震補強用鋼板の製作は①NEXCO積算基準書32-13による積上げ、②見積りのどちらをお考えでしょうか、ご教示願います。	柱状体圧入補強協会の標準積算資料による積算を想定しております。
9	金抜設計書番号68	断面修復工について、使用する水の量をご教示願います。	水の使用量については具体的に想定する数量はございません。
10	金抜設計書番号75	橋脚切り欠き:部充填工-アンカー工について、鉄筋探査に要する費用は見込まれておられますか、ご教示願います。	橋脚切り欠き部における鉄筋探査は含まれるものとお考えください。

11	金抜設計書番号76	マンホール設置について、マンホールの製作は①NEXCO積算基準による積上げ、②見積りのどちらをお考えでしょうか、ご教示願います。	NEXCO積算基準書の条件に合ったものをお考えしております。
12	金抜設計書番号76	マンホール設置について、この単価項目にステップと手摺は見込まれておられますか、ご教示願います。	見込んでいないとお考えください。 なお、ステップ及び手摺は落橋防止構造に含まれるものとお考えください。
13	特記仕様書P21	撤去したライナープレート及び鋼矢板について、撤去箇所に仮置きとの理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	ライナープレートについては、撤去後の処理については別途監督員との協議となります。鋼矢板は補強後すみやかにスクラップ処理を想定しております。
14	特記仕様書P21	鋼矢板について、小櫃川第一P5橋脚、小櫃川第一P6橋脚共に購入材との記載ですが、P5橋脚とP6橋脚の間での転用はないとの理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	転用は想定していません。
15	特記仕様書P21	鋼矢板の購入について、新品、中古品のどちらをお考えでしょうか、ご教示願います。	中古品を想定しております。
16	特記仕様書P22	23-4-1 材料について、組立て用アンカーの定着に使用するエポキシ樹脂系の接着剤の比重について、ご教示願います。	接着剤の比重は特に指定をしておりません。

17	特記仕様書P23	23-5-1 アンカー工Bについて、削孔φ42で削孔長さ490mmも含まれるのではないのでしょうか、ご確認願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
18	特記仕様書P30	炭素繊維巻立て工について、目付量400g/m ² ・目付量450g/m ² ・目付量600g/m ² は土木工事積算基準書の基準外ですが、物価資料の土木工事標準単価ー連続シート繊維補強工の単価を採用とのお考えでしょうか、ご教示願います。	「橋梁架設工事の積算」による積算を想定しております。
19	設計図参考図P613～618	切梁・腹起し材について、リース品とのお考えでしょうか、ご教示願います。	リース品を想定しています。
20	間接工事算定の適用工種区分	本工事の間接工事算定の適用工種区分は、修繕の橋梁保全との理解で宜しいのでしょうか、ご教示願います。	橋梁保全とお考えください。